



地下鉄短信(第275号) 平成29年1月11日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○ 仙台市交通局地下鉄東西線が、第10回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞 !!

○ 仙台市交通局地下鉄東西線が、第10回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。

仙台市の津波避難施設整備事業および地下鉄東西線建設事業の2事業が、公共交通機関、道路、建築物などの国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人・団体を表彰する第10回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。

来る1月13日(金)の表彰式において国土交通大臣から表彰されます。

1 受賞案件 「仙台市地下鉄東西線建設事業」

【計画段階からの障害当事者参加による、地下鉄車両と駅舎のバリアフリー化】

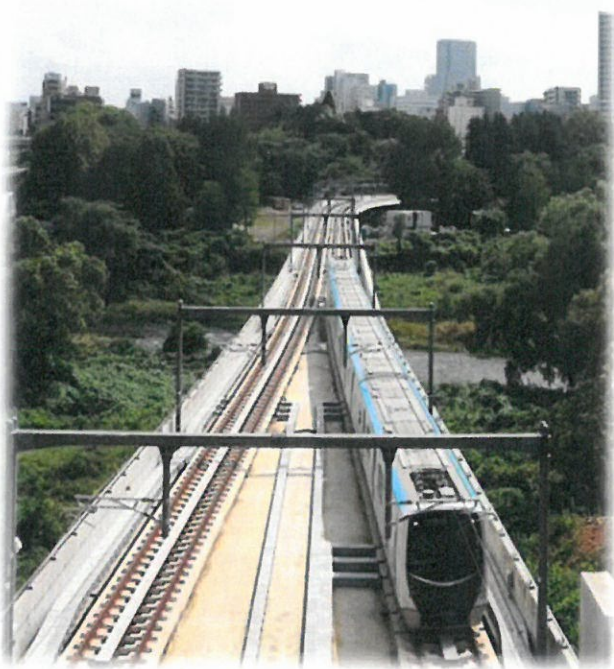
2 受賞理由

平成27年12月に新たに開業した地下鉄東西線の整備に当たり、計画段階から障害当事者の参加のもと意見聴取を行い、設計等に反映させている。その結果、車いすでも介助無しで乗降できるなど、車両と駅舎の双方において最先端のバリアフリー化がなされている。

3 事業概要

自動車交通に過度に依存しない都市構造とするため、地下鉄南北線に加えて東西方向の軌道系交通機関として骨格交通軸を形成すべく整備された本市の基幹プロジェクト。市南西部の八木山地区から都心部の仙台駅付近を経て市東部の業務地区を經由して荒井地区へ至るルート、営業キロ13.90km、13駅を約30分で結ぶリニアモーター式地下鉄。

平成15年に鉄道事業法に基づく鉄道事業許可を取得、平成18年に本体土木工事に着手し、途中東日本大震災により約半年間の工事中止期間を挟んだものの、平成27年12月6日に開業。



地下鉄東西線



障がい者と共に進めた施設整備の例
(車内手すり)

※国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰

平成19年度創設。国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人・団体を表彰するもの。第10回となる今回は、全国で4団体が表彰される

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jmetro.or.jp